

政治資金パーティー収入を巡る裏金事件の全容の徹底解明を求める意見書

自民党最大派閥・安倍派の政治資金パーティー収入を巡る裏金事件で、池田佳隆衆院議員と会計責任者の政策秘書が1月7日、東京地検特捜部に逮捕されました。政治資金規正法違反（虚偽記載）の容疑です。安倍派は毎年開く政治資金パーティーの際、ノルマを超えてパーティー券を売った議員にその代金をキックバック（還流）していました。還流分は政治資金収支報告書に記載されず、裏金となっており、総額は直近の5年間だけで約5億円に上るとされています。自民党内の聞き取り調査では裏金は20年以上前から可能性もあり、組織的・長期にわたって慣習化されてきたものと思われる。

安倍派だけでなく、自民党全体に広がる裏金問題に、岸田文雄首相は「信頼回復に努める」と強調するものの、全容を解明する姿勢を示しておらず、裏金づくりは誰からの指示だったのか、何に使われたのか、裏金が政治をいかに歪めてきたのかという本質的な問題はいまだに解明されていません。

国民の岸田政権への批判は高まる一方です。時事通信が実施した2月の世論調査によると、内閣支持率は16.9%で発足以来の過去最低を更新しました。

徹底して疑惑解明を行うことは政治の責任であります。国は一連の裏金事件の全容の徹底解明を図るよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年3月27日

撰津市議会